



あなたと環境に  
やさしい

# 和ふすま

“和ふすま”は  
芯材に木製の組子骨を  
使用した「ふすま」です。

だから安心！

だから張り替え出来て経済的！

ふすまが生まれたのは今から1000年以上も前のこと

ふすまの豊かな意匠を住まいの中に生かし

人々の心とくらしを彩ってきました。

室内の大切な装飾の役割を果たしながら

開けてよし、閉めてよし

木と紙で端正に作られた和ふすまは

日本の生活と気候風土に最適な間仕切りです。



日本襖振興会



# 和ふすま の特徴

ふすまにとって一番大切なのは、その芯材です。“和ふすま”は、木製の組子骨を芯材に使用しています。

## 本格派

和ふすまは、木製の組子骨を芯材として使用し、耐久性にも非常に優れた暖かみのある本格的なふすまです。別表の共通仕様にしたものから伝統的な技法を生かしたもので、いろいろなタイプがあります。

## 豊富なアイテム エコロジー

和ふすまに対応できる上張紙・ふち・引手等のバリエーションはかなりの豊富に用意されており、思い立った時にはいつでも部材を取り替えて、インテリア素材として十分楽しんで頂けます。

和ふすまは、木と紙だけの100%天然素材で出来ていますので、生活環境に非常に優しいエコロジー商品で、もちろん襦の最終処分時にもほとんど環境問題は生じません。

## リサイクル

和ふすまは、紙の張り替え・縁の取り替え・引手の取り替えにより長期にわたり使用可能な製品です。古くなった部材だけお取り替えいただければ何度でも新品同様に復元します。

## 機能性

和ふすまは、間仕切りとしての機能だけでなく、室内の湿度が高くなれば湿気を吸収し、低くなれば放出するという、いわば湿度調整機能もあります。生活の知恵から生まれた、日本の風土に最適な建具です。

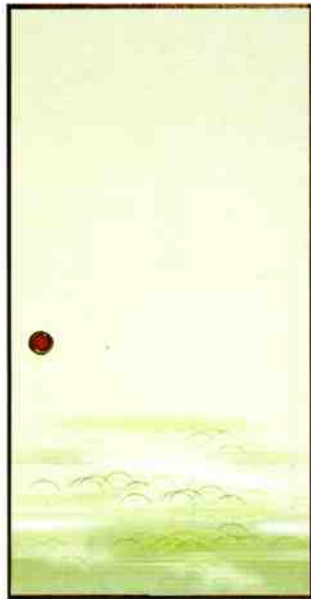
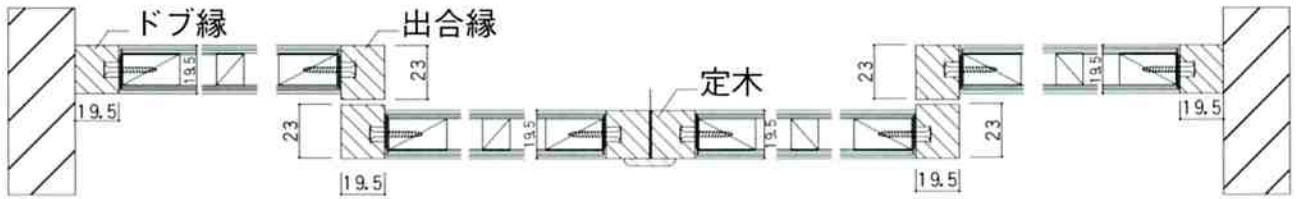
## インテリア素材

和ふすまなら採光を取り入れる中抜き襦や、お茶室のぼうず襦などいろいろな形の襦に対応できます。和室に限らず洋室にでも、和ふすまを取り入れることにより、きつとご満足いく生活空間が生まれると思います。

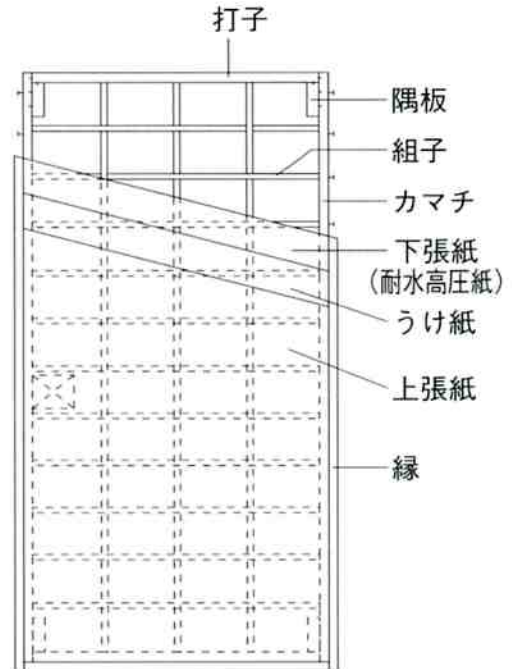
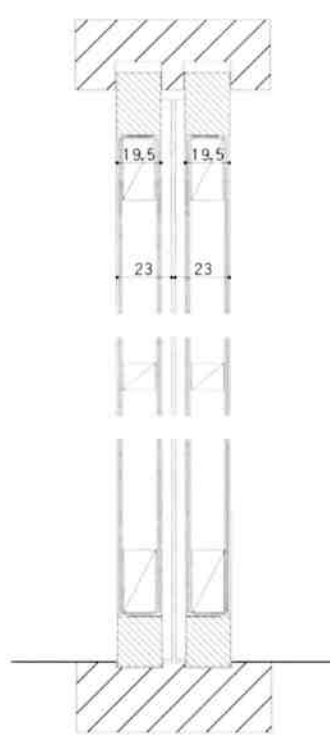
”和ふすま”なら紙の張り替え・部材の取り替えの時、全国の表具店・ひょうぐてん 経師店に依頼すると、いつでもどこでも早く応じて頂けます。アフターフォローはどの”和ふすま”より安心です。

和ふすまは、結局 一番お得で一番安心!

# 和ふすま構造図 (社団法人公共建築協会建築工事共通仕様)



“和ふすま”は木製の組子骨を芯材とした襖です。

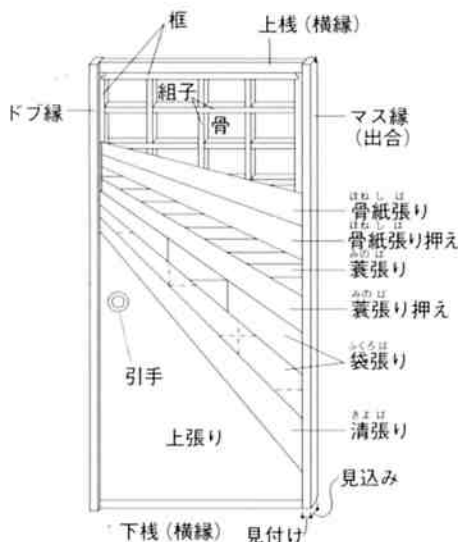


風合いのある質感をもたせるために、うけ紙を浮し張りしています。

上記は「和ふすまⅡ型」の標準的な仕様です。その他にも組子の数や部材の大きさによっていろいろなタイプのものがあります。「和ふすまⅠ型」は下張り紙として耐水高压紙のかわりに茶色や青色、紫色の紙を手張り加工します。

## より高級感のある本格的な和ふすま

“和ふすま”には一般的なⅠ型・Ⅱ型のほかに、下地の種類と工程の組合せにより、多くのグレードの仕上げ方法があります。



### 下地材の種類と部材寸法

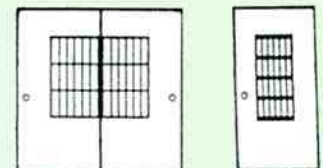
種類	四分子 (割返し)	上四分子 (堅平骨)	中並	相中 (平骨)
見付け寸法	21.0mm	21.0mm	24.0mm	24.0mm
框 (カマチ)	21.0mm	21.0mm	24.0mm	24.0mm
縦・横組子	12.1mm	13.5mm	18.1mm	19.5mm
カ子	19.5mm	19.5mm	24.0mm	24.0mm

框の見込み=16.7mm 中子の見込み=13.6mm

### 下張りの工程とグレード

	一般仕上げ		高級仕上げ	
	3偏張り	4偏張り	7偏張り	8偏張り
骨紙張り	1回	1回	1回	1回
骨紙張り押え	1回	1回	1回	1回
裏張り	—	—	2回	2回
裏張り押え	—	—	1回	1回
袋張り(うけ)	1回	2回	2回	2回
清張り	—	—	—	1回

### 採光の取れる中抜き襖



縁側に面した座敷や二間続きの取合いふすまに最適です。障子のデザインは色々あります。



## 和ふすまの標準仕様書

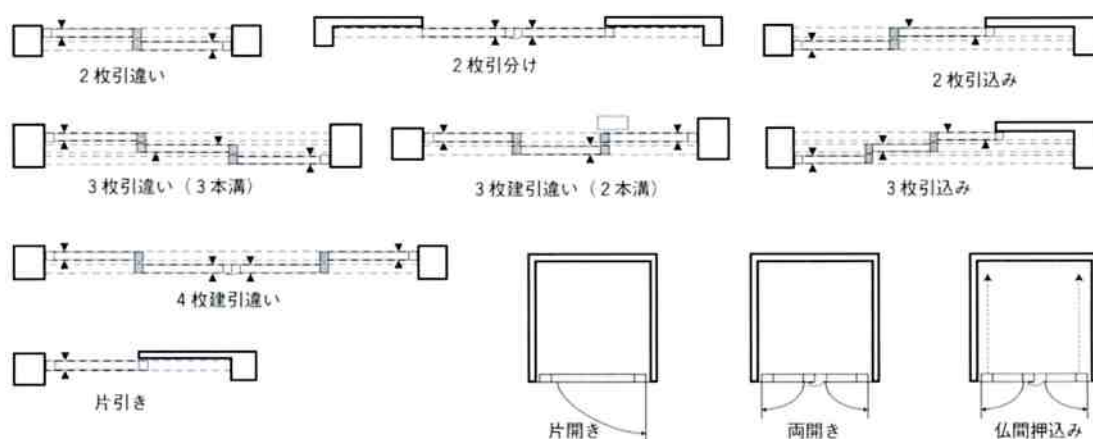
社団法人 公共建築協会建築工事共通仕様書（ふすまの材料より）

部 材		種 別	
		I 型（在来型）	II 型（チップ型）
かまち（縁）		杉・ひのき・ひば・さわら・米杉・スプルス・ノーブル・アガチス等の無節材	
周囲骨		杉・米杉・さわら等の無節材	
中 骨		杉・赤松・米杉・米ひば・米松・米つが等の無節材	左記のほか、ジェルトン・プライ等の無節材（注1）
紙	下張り	茶ちり紙（骨しばり） 黒紙又は紫紙（べた張り）（注2） 袋紙（袋張り）	耐水高圧紙（注3） 袋紙（袋張り）
	上張り	鳥の子・新鳥の子程度又はビニール紙程度。 押入等の裏紙は雲花紙程度	
引 手		軽合金製、合成樹脂製又は木製	

- （注） 1.ジェルトン・プライは防虫処理を施したものとする。  
2.茶ちり紙と黒紙又は紫紙を漉き合わせた紙としてもよい。  
3.耐水高圧紙は350g/m<sup>2</sup>・厚さ0.52mmとする。

## 和ふすまの納まり図

□ドブ ■マス（出合） ▼引手位置



## 仕上り寸法基準と一般普及品の設計参考価格

H2100以下	H特高
H2000以下	H高
H1860以下	
日本襖振興会 標準サイズ	
W980以下	
	W980超 1350以下 巾広

### 和ふすま II 型（チップ型）押入れふすまの場合

新鳥の子紙張・並カシュウ塗り縁 仕様

標準寸法	設計参考製品価格	（別途費用） 採寸費用 建合わせ費用 搬入費用 消費税
W 980×H 1860	13,000円/枚	
H 高 W 980×H 2000	16,900円/枚	
H 特高 W 980×H 2100	19,500円/枚	
2 間半用 W1200×H 1860	19,500円/枚	
3 間用 W1350×H 1860	26,000円/枚	

※上記のほか特殊寸法品にも対応できます。

※別途費用は現場状況や地域により多少異なります。またH高や巾広タイプは部材により割増し額が異なります。実際には現場仕様に沿ったお見積をさせていただきます。

※また集合住宅等、同タイプ量産の場合の価格も別途お見積をさせていただきます。

※和ふすまは、すべて現地寸法を採寸してから製作しますので、建て合わせの綺麗な“ふすま”をお納めすることができます。

# 和ふすま用の部材は伝統的なものから最新ののものまで 数多く用意されています

## ふすま紙

- 本鳥の子** 雁皮・三極・楮などの糊皮せんいを原料にした手漉きの紙で、美しく永持ちします。上質な鳥の子ほど施工時には下地骨や下張紙に十分な配慮が必要です。(設計価格 5,000~20,000円以上/紙1枚)
- 鳥の子** 本鳥の子が手漉きで作られるのに比べ、鳥の子は機械で漉きます。さまざまな技術によって紙の風合いも、手漉きに近いものが出来ています。(設計価格 2,000~10,000円以上/紙1枚)
- 上新鳥の子** 鳥の子の普及品で、すべて機械漉きのため比較的低价格です。漉き模様や後加工によるさまざまな図柄があります。一般には略して「上新」と呼ばれています。(設計価格 1,000~2,000円位/紙1枚)
- 新鳥の子** ふすま紙の中では最も廉価で、製紙・柄付けとも機械により一貫生産されています。下地の透けを防ぐために紙の裏が茶色のものが多く、一般に「茶裏新鳥」と呼ばれます。(設計価格 600~1,000円位/紙1枚)
- 上級織物** 主としてドビー織など縦糸・横糸ともに糸目の詰んだ高級な織物ふすま紙です。縦糸にレーヨン糸50本/インチ位、横糸に意匠撚糸や絹糸を40本/インチ程度打ち込んでいます。加飾される絵柄も一枚ずつ丁寧に手加工されます。(設計価格 3,000~30,000円以上/紙1枚)
- 中級織物** 長繊維のレーヨン糸やスラブ糸・ネップ糸等の意匠撚糸で織っています。絵柄は手加工や最新の技術を駆使して加工し、上品な柄が数多く用意されています。(設計価格 1,600~3,000円以上/紙1枚)
- 普及品織物** 低価格な織物のふすま紙です。絵柄は特殊な輪転・オフセット・スクリーン印刷機などで加工されます。レーヨン糸やマニラ麻糸を縦24本、横22本/インチ程度を打ち込んでいます。(設計価格1,200~1,500円位/紙1枚)

その他：芭蕉布・本葛布・本金細工紙等 上張紙として使用できる紙は数多くあります。ふすま紙のサンプル帳は、上記ランク別に約200種類10,000点程のアイテムが用意されています。

## ふすま縁

- カシュウ塗り** 米杉・南洋材や松材等にカシュウの植物樹脂を塗布したもの。塗布回数によって並カシュウや上カシュウなどのランクがあり色の種類も豊富です。(設計価格 2,000~12,000円位/襖1枚分)
- うるし塗り** 松材にうるしを塗布した縁。下地の処理法や塗布回数によって幾種類ものランクがあります。通常別注品のため製作日数が1ヶ月余かかります。(設計価格15,000~200,000円位/襖1枚分)
- 色付け** キハダ・ラワン・米杉などに特殊な薬剤で色付け加工をし、蠟磨きをしています。目起しや杉色付けが量産用として普及しています。(設計価格 2,000~15,000円位/襖1枚分)
- 木地縁** スプルース・米杉・松などを木地のまま使用します。(設計価格4,000~15,000円位/襖1枚分)



カシュウ黒 カシュウウルミ カシュウタメ カシュウ朱 カシュウ春慶 カシュウ艶消 杉目起し 杉色付け タメ目引き 女桑 スプルース 松木地

地域や施工店により標準タイプ・オプションの区別が異なります。またサンプルの色は実際と多少異なる場合があります。

## ふすま引手

和ふすま用には色々な材質・形・色のものが用意されています。

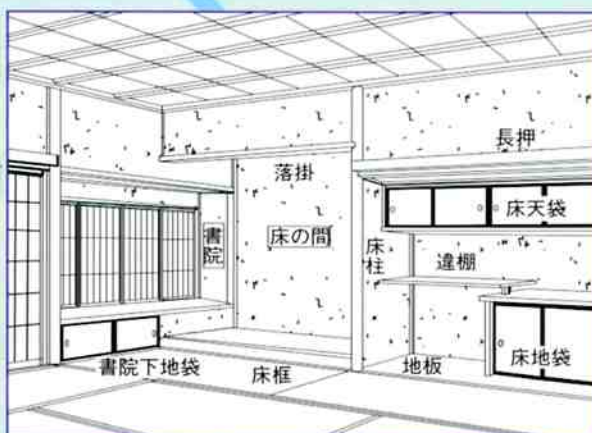
- 銅製** (設計価格 10,000~50,000円位/引手1個)
- 真鍮製** (設計価格 1,000~5,000円位/引手1個)
- 鉄製** (設計価格 180~500円位/引手1個)
- 木製** (設計価格 900~3,000円位/引手1個)
- プラスチック製** (設計価格 100円位/引手1個)

※その他、本金・本銀製や陶製のものまで色々あります。

ふすまの製品価格は部材代のほか製作費と建合わせ費等が必要です。

部材についての  
詳しいお問合わせは、  
表具店または  
襖材料店へどうぞ!!





お問い合わせ

協賛団体 全国組子襖下地協議会

日本襖振興会 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル8F 大阪内装材料協同組合内

1999年9月現在